

# Q&A

日本経済新聞社 編

# 保険 100問 100答

生命保険は何種類あるか  
地震保険の内容は  
保険料を担保に借金できるか  
保険金にかかる税金は  
保険会社の資産運用方法は  
年金危機とは何のこと

Q&A

日本經濟新聞社 編

**保險**  
**100問100答**

日本經濟新聞社

## 保険 100 問 100 答

編者 日本経済新聞社

© The Nihon Keizai 1978

昭和53年8月21日 1版1刷

昭和54年11月1日 2刷

---

発行者 黒川 洸

発行所 日本経済新聞社

東京都千代田区大手町1-9-5 (郵便番号100)

電話(03)270-0251 振替 東京3-555

印刷 東光整版印刷 製本 トキワ製本所

(分)3033(製)8245(出)5825

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者・出版社の権利侵害になります。

## まえがき

「保険」という言葉によいイメージを持っている人は必ずしも多くありません。「自分が死ぬことを前提にした話なんて聞くのもいやだ」「毎月、高い健康保険料をとられるのに、病院に通うことは滅多にない」「厚生年金の高いのには驚いた」——等々、保険はあまり歓迎されていないようです。

それでも、社会生活を送るうえで、保険とまったく縁がないという人はまずないでしょう。学校を卒業して就職すれば労災保険、雇用保険、健康保険といった社会保険に自動的に加入するのがふつうです。結婚して子供ができるころにはかなりの人が「若いうちに死ぬわけがない」と思いながらも、生命保険に入ります。

マイカーを持てば自動車損害賠償責任保険に入ることが義務づけられます。住宅ローンを借りれば、死亡した時に銀行が損をしないように生命保険に加入させられます。マイホームが完成すれば、「やっぱり、火災保険をつけておこうか」ということになります。

このように保険は私たちの暮らしのすみずみにまで行き渡っており、社会保険、私保険（生命保険、損害保険の総称）を含めて考えれば、国民皆保険の状態になっているといっても過言ではないでしょう。

しかし、これほど深い関係のある保険をどの程度理解しているかとなると、あまり自信がないのが

実情ではないでしょうか。確かに保険の仕組みは簡単ではありません。世の中が複雑になり、消費者のニーズが多様化するにつれて、保険自体も複雑になってきました。保険をめぐるトラブルも後を絶ちませんが、この背景にはやはり保険に対する無知があることは否定できません。無理解が原因で損をしているケースもあるようです。

この本は誰もが知っておくべき保険の仕組みや現状を、できる限り平易に解説したものです。一般の消費者だけでなく、「自分の担当以外はよく知らない」といわれる保険マンや外務員、代理店の方にも読んでほしいと思います。また将来、保険会社に就職しようとしている学生諸君にも役立つものをおもってつくりました。

「一人は万人のため、万人は一人のため」という保険の思想は、これからの社会でますます重要になってきます。本書が保険の理解に少しでも役立てば幸いです。

昭和五十三年八月

日本経済新聞社



## 2 生命保険の種類

13	生命保険にはどのような種類がありますか……………	38
14	死亡した時の保障だけを目的とした保険がありますか……………	40
15	インフレでも保険金が「目減り」しない保険はありますか……………	42
16	万一の保障と貯蓄とを兼ねた保険がありますか……………	44
17	死亡保険金が満期保険金よりずっと大きい保険がありますか……………	46
18	保険料の払込みが終わっても保障が続く保険がありますか……………	48
19	働き盛りの時に大きな保障が得られる保険がありますか……………	50
20	保障より貯蓄に重点をおいた保険にはどんなものがありますか……………	52
21	年金の形で保険金がもらえる保険がありますか……………	54
22	中高年を対象とした保険にはどんな特色がありますか……………	56
23	若者向けの保険にはどのようなものがありますか……………	58
24	こども保険はどのような仕組みになっているのですか……………	60
25	ガン保険とはどんなのですか……………	62
26	疾病入院特約、成人病入院特約について説明して下さい……………	64
27	海外旅行中の事故や病気を保障する保険がありますか……………	66
28	団体定期保険とはどのような保険ですか……………	68
29	グループで加入できる保険にはどんなものがありますか……………	70

30	郵便局の簡易生命保険について説明して下さい	72
3	<b>3 損害保険の種類</b>	
31	損害保険にはどのような種類がありますか	76
32	火災保険に入るにはどのような点に注意したらよいでしょうか	78
33	分譲マンションの場合、どんな火災保険が適していますか	80
34	建物が全焼した場合に元どおり再建できるような保険がありますか	82
35	地震保険の内容について説明して下さい	84
36	アパートなどの火災に備えて、家賃収入を保障する保険がありますか	86
37	月掛け火災保険にはどのような特色がありますか	88
38	住宅総合保険はどんな場合に保険金が支払われますか	90
39	マイカーを買ったら、どのような保険に入るべきでしょうか	92
40	自動車損害賠償責任保険には必ず加入しないといけないのですか	94
41	海上保険にはどのような種類がありますか	96
42	航空機の保険はどのような仕組みになっているのですか	98
43	傷害保険ではどんな場合に保険金を支払ってもらえますか	100
44	住宅ローン保証保険とはどんなものですか	102
45	ケガをして収入の道が絶えてしまったような時の保険がありますか	104



	46	企業が利用している損害保険にはどんなものがありますか	106
		<b>4 申込みから受取まで</b>	
47		生命保険の契約書(約款)には何が書いてあるのですか	110
48		体が弱くても生命保険に加入できますか	112
49		告知義務とはどういうことですか	114
50		被保険者が自殺しても保険金はもらえますか	116
51		保険金の受取り方にはどんな方法がありますか	118
52		保険料の払込みをうっかり忘れてたらどうなりますか	120
53		保険料を払えなくなつた場合、解約以外の方法がありますか	122
54		保険に加入したあと、注意すべきことがありますか	124
55		生命保険に加入した直後の不幸でも保険金をもらえますか	126
56		保険を解約しないで、積み立てたおカネを一時的に利用できますか	128
57		保険金にも税金がかかりますか	130
58		保険金を途中で増額する制度がありますか	132
59		保険金の受取人が死亡した場合、契約はどうなるのですか	134
60		火災保険に入っていて家屋が全焼したら、必ず保険金はもらえますか	136
61		交通事故にあつて死亡した時、示談や保険の請求はどうするのですか	138

77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67		66	65	64	63	62
銀行は不良債権に悩んでいますか………	借り手の立場からみると、生保資金にはどんな特徴がありますか………	生保会社の中小企業向け融資はどのくらい進んでいますか………	企業の資金需要が停滞して、生保会社はどんな影響が出ていますか………	損保会社は金融機関としてどんな特色を持っていますか………	金融機関としての生保の地位はどのようなものですか………	生命保険文化センターとはどんなことをしているところですか………	生保会社の社員総代会とはどのようなものですか………	保険の仕組みは難解ですが、保険会社はどんなPRをしていますか………	生命保険の店頭販売はどの程度普及していますか………	生命保険の外務員になるには何か条件がありますか………		水害や土砂崩れによる被害は、火災保険ではどうにもなりませんか………	団地で上の階から失火したら、下の人は損害賠償を請求できますか………	火災保険では絵画などが燃えても補償されないのはなぜですか………	自分の失火や放火された場合でも保険金はもらえますか………	危険な職業についても傷害保険に加入できますか………
172	170	168	166	164	162	160	158	156	154	152		148	146	144	142	140

5 保険業界はいま

93	厚生年金の加入期間が規定より短い人に何か救済策はないのですか	206
92	国民年金は厚生年金とどこが違うのですか	204
91	厚生年金はどのような仕組みになっているのですか	202
90	失業した時のための雇用保険について説明して下さい	200
89	国民健康保険にはどのような人が加入していますか	198
88	健康保険の仕組みはどうなっているのですか	196
87	わが国の社会保険の歴史を簡単に説明して下さい	194
<b>6 社会保険制度</b>		
86	大蔵省は保険会社に対してどのような行政態度で臨んでいますか	190
85	中小保険会社は大手に対してどのような対抗策をとっていますか	188
84	外国の保険会社はわが国にどのくらい進出していますか	186
83	第三分野の保険とは何のことですか	184
82	パッケージ保険とはどのようなものですか	182
81	損害保険の代理店になるにはどんな資格が必要ですか	180
80	損保会社も資産運用難といいますが、その実態はどうですか	178
79	生保会社は資産運用の制限緩和をめざしているようですが、その方向は	176
78	保険会社の国際化はどのくらい進んでいますか	174

94	医療保険の財政はどうなっていますか……………	208
95	年金の財政はどうなっていますか……………	210
96	労災保険の仕組みを説明して下さい……………	212
97	特定の職業を対象としたような社会保険がありますか……………	214
98	経済政策保険とはどのようなものですか……………	216
99	輸出保険制度にはどのようなものがありますか……………	218
100	社会保険や年金制度の改革が論議されていますが、その方向は……………	220
	保険会社収支状況一覧表……………	224
	索引……………	228



# 1 保険の仕組み



## ？①

### 保険の基本的な仕組み、役割を説明

して下さい

保険の基本は助け合いの精神で、  
集団安全保障といえますが、社  
会の安定にも寄与しています。

未来はつねに不透明です。成功があり、失敗があります。思いがけない災難に会って、不幸になることもあります。生と死もまた背中合わせです。昔から人の暮らしに危険と不安はつきものでした。人ひとりの力には限りがあります。安全と安定を求めて努力しても、不慮の災害には抗すべくもなく、無一物になることも珍しくありません。そこで先人は知恵をしばり、災難による損害をおカネでつぐない、埋め合わせる方法をあれこれと工夫してきました。そこからいまの保険が生まれてきたのです。

保険の仕組みは、ひとくちに言えば助け合いです。一人ではとても背負い切れない損害を、大勢の人が出し合ったおカネで補償します。大きな危険を小さな負担で乗り越えることができるわけです。もちろん危険と負担の割振りは時と場合によって異なります。損害をもたらす危険に直面しなければ、負担だけが残るということもあります。危険さえなければコツコツと貯蓄に努めた方が得だという計算にはなりますが、危険がないとはいいきれないのがこの世の中です。「一人は万人のため、万人は一人のため」——現代の保険の思想は、このような相互扶助の精神を基盤としています。明日はわが身という不安をしずめる安全保障の働きが、保険には期待できるといえますしやう。

## 1 保険の仕組み

いわば集団安全保障です。ですから個人でも法人でも、ただ一人だけでは保険は成立しません。多くの人が一つの「集団」を構成しないと、保険のやりくりはできません。単純に計算すると、その「集団」を構成する人が多いほど、一人当たりの負担は軽くてすみます。もともと実際には危険の度合、経費のかかり方、集めたおカネの運用益の出方などをにらみ合わせて計算しますので、多数が直ちに低負担に結びつくとはいえません。

おカネのやりとりで暮らしているいまの社会では、誰でも「もうけたい」と考えるのは自然な気持かもしれません。しかし保険では「もうけない」というのが原則です。保険会社は集まったおカネをうまく運用してもうけなくてはなりません。保険をかける人の立場は「もうける」よりも「損害をつぐなう」のが第一の目的となります。かりに百万円の被害額であるのに、その倍の二百万円を受け取ったとすると、もらった人はもうかったこととなりますが、それでは他の保険の仲間から不平不満が出るでしょう。

預貯金に近い形の保険で利息収入をあてにしたものもありますから、収益期待と損害補償との間はいまいちになってはいます。それでも一定のルールにしたがい、そのルールにはずれた「もうけ」は望めないのが保険の基本です。しかも「損害」は「予期せざるべきこと」であることが条件です。初めからわかっている「損害」におカネを出すのでは、保険はつぶれてしまいます。

保険は予見しにくい未来への挑戦です。不安な現代を生き抜く知恵といえます。これによって個人や企業の信用を高め、社会を安定させる役割もあるといわれます。



## ？ 2

保険にはどのようなパターンがあり

ますか

公共福祉としての社会保険と私  
的保険に大別され、後者には生  
命保険と損害保険があります。

保険は福祉の支柱になっています。病気になった時には健康保険、老後生活には年金保険、事故の損害を埋める損害保険、人が死亡した場合は生命保険。ざっと見渡してみても、私たちの暮らしの安定に保険は欠くことのできない役割を果たしています。この保険は大別すると二とおりになります。

まず公的福祉を支えている社会保険です。それを補完する形で私的保険の裾野が広がっています。公的福祉に対して「自前の福祉」といつてもいいかと思えます。

近代国家は国民の生活の最低限度を保障し、老人、病人などの弱者を助ける制度を備えることになっています。強い者だけがなお強くなって、弱者は落ちこぼれるのでは社会的安定を保てないからです。また国全体としてつりあいのとれた成長をとげるためにも、所得格差を是正する働きが必要になります。さらに不況の悪影響を食い止めて、民間経済の回復を支える役割が期待されます。このため世界的に先進工業国は公的福祉を拡充してきました。もっとも最近は何国とも財政に重荷がかかってきて、公的福祉を見直そうという機運にあります。

公的福祉は、いかえれば社会保険です。ケガや病気の治療費を払う医療保険、失業した時におカネを支給する雇用保険、老齢・不具・死亡などで収入が減ったりなくなったりするのに対し、毎年一